

報道関係各位

 2024年4月23日  
 公益財団法人 日本テニス協会  
 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団

# 「安藤財団グローバルチャレンジ」r. テニス 2024」 の取り組みについて ～将来のスーパースターの発掘と育成に向けた支援～



主催	公益財団法人 日本テニス協会
後援	公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
概要	<p>ここ10年、錦織圭選手、大坂なおみ選手がグランドスラムで活躍するなど、多くの日本選手が海外で成功を収めてきました。</p> <p>今後、日本テニス界が目指すべきところは、テニス先進国への変貌であると考えています。日本テニス協会では、世界ランキング100位以内にランクした日本選手らの競技力向上の過程をベースに、ネクストジェン(今後の活躍が期待される次世代選手)の強化とTOP100へのパスウェイの確立を図っています。</p> <p>TOP100へのパスウェイを普及し、これまで以上に多くの選手が世界にチャレンジできる国内環境の構築を目指し、「だれでも・どこからでも世界は目指せる」をキーワードに、「富士山プロジェクト」を掲げ、環境づくりを進めています。雄大な富士山のように日本テニス界の裾野を広げ、「日本テニス」の存在感を国内外に示していきたいと考えています。</p> <p>この「富士山プロジェクト」の一翼を担う11歳を中心としたU12世代の発掘、育成において、公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団の支援を受け、「安藤財団グローバルチャレンジJr.テニス」を2023年度から立ち上げました。</p>

目的	<p>2023 年度は、ジュニア時代から世界での活躍を意識し、トップアスリートとして求められる資質を身につけるため、国内外で活躍してきた超トップクラスのコーチによるオンコート指導だけでなく、オフコートでも「チャンピオン教育※」を通じて、将来のスーパースター発掘と育成体制の構築を目指して、まずは取り組んでまいりました。</p> <p>2024 年度からは、U12 世代における世界最高峰の大会への出場や、海外遠征を通して、さらなるグローバルマインドと視野を育成していく取り組みを考えております。</p> <p>※「チャンピオン教育」とは、真のチャンピオンを目指すために必要な要素(心・技・体・知・徳)をジュニア期から学び、TOP100 その先の TOP50、20、10、チャンピオン誕生の可能性を広げることを狙いとした取り組みです。具体的には「トッププレイヤーが持つマインド」「コンディショニング(栄養、睡眠、体力など)」「表現力」などを学ぶ研修の総称で、第 2 の錦織圭、大坂なおみの誕生を目指します。</p>		
参加者	<p>(1)47 都道府県テニス協会の推薦を受けた小学校 5 年生を中心とした男女選手、計 94 名          (2)アジアとの国際交流として同世代の海外ジュニア選手数名を当キャンプに招待          ※2024 年 4 月第 1 回キャンプでは、香港テニス協会から男女 3 名ずつ 6 名の選手が参加予定</p>		
実施内容	<p>(1)国内発掘キャンプ 東京、大阪、地方会場における年 3 回のキャンプを開催          (2)海外派遣 1 週間程度の海外遠征、大会出場など          上記の発掘キャンプを通じて優秀な選手数名を選抜し、日本テニス協会が推薦して海外に派遣          * 海外遠征先候補大会: EDDIE HERR (アメリカ)</p>		
2024 年度	(1)国内発掘キャンプ		
(予定)	① 大阪/江坂テニスセンター	2024 年 4 月 27 日(土)~29 日(月)	選手 30 名前後
	② 兵庫/ブルボンビーンズドーム	2024 年 6 月 21 日(金)~23 日(月)	選手 50 名前後
	③ 東京/調整中	2024 年 9 月 14 日(土)~16 日(月)	選手 24 名前後
	(2)海外派遣	2024 年 11~12 月ごろを予定	選手数名

## 世界で活躍してきたトップコーチよりコメントを頂きました！

※2023年度参加コーチ(一部抜粋)



### 本村 剛一さん

・全日本テニス選手権4回優勝(1999/2000/2002/2003)  
 ・全豪オープン出場(2000/2003)

#### ～参加選手との継続的な交流～

日が経つにつれて指導者と子供達の距離がとて近くなり、何でも話し合える素晴らしい関係になっています。今でも数名の子供達とはSNSでやり取りをしながらコミュニケーションをとっています。  
 テニスが上手くなる様に指導することはもちろんですが、キャンプを通して様々な面で周りの事に気遣える選手に育ってほしいと思います。



### 浅越しのぶさん

・全米オープンベスト8(2004)、シドニー・アテネ五輪出場  
 ・世界ランキング シングルス 21位(2005)

#### ～人間力、想像力、好奇心を育む～

普段の練習相手とは違う選手が全国から集まり、一緒にセミナーやオンコート練習、測定、トレーニング、寝食を共にし、コート上だけではなくたくさんの方の事を学ぶとても刺激的な3日間のキャンプです。初めて学んだこと、レジェンドコーチからのアドバイスを受けて、今までの意識からレベルアップした様子が感じられました。人間力、想像力、好奇心を育み、自身の個性と合致させ、さらなるレベルアップに努めてほしいと思います。



### 中山 芳徳さん

・日本テニス協会強化本部ナショナルチーム女子ジュニアヘッドコーチ  
 ・ワールドジュニア(14歳以下)女子代表監督

#### ～エキスパート講師・元プロコーチから学ぶ貴重な機会～

各分野のエキスパートの講師による講義や元プロのトークセッション等を通して多くの知識や感性を学び、将来多くの人に応援されるチャンピオンになるための第一歩となるキャンプです。オンコートのプログラムでは、レジェンドコーチやフィジカルコーチからU11に必要なゲームやスキル、運動能力開発を行い、テニスの楽しさを再認識する中で、夢が目標にかわる素晴らしい機会になると思います。これから目標に向かっていく中で、多くの上手い出来ないこと、思い通りにいかないことと向き合うと思いますが、考える力とテニスが好きだという気持ち、そして多くの仲間の支えによって必ず乗り越えられると信じてほしいです！夢はかなう！！

【公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団について】

日清食品創業者・安藤百福が私財を提供して 1983 年に設立した公益財団法人です。「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもと、青少年の健全な心身の育成を目的にスポーツ支援、自然体験活動の普及に取り組んでいるほか、発明記念館の運営、新しい食品の創造につながる研究、開発を奨励する食文化の振興を支援しています。

本財団は、2013 年度より日本テニス協会主催の男子ジュニア育成プログラムを支援してきましたが、この度、日本テニス協会の「富士山プロジェクト」構想における 11 歳を中心とした U12 世代の発掘、育成事業に共感し、当財団の青少年の健全な心身の育成という事業目的に合致することから、本事業を支援し、日本テニス界の裾野の広がりを応援します。

[URL] <http://www.ando-zaidan.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

日本テニス協会「安藤財団グローバルチャレンジJr.テニス」事務局  
電話:03-6812-9271 FAX:03-6812-9275 E-mail: [global\\_challenge@jta-tennis.or.jp](mailto:global_challenge@jta-tennis.or.jp)

安藤スポーツ・食文化振興財団事務局  
電話:072-752-4335 FAX:072-752-1288 E-mail: [info-foundation@ando-zaidan.jp](mailto:info-foundation@ando-zaidan.jp)